

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	----------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	畜産課長 川津 章弘	電話番号	0852-22-5132
----------	------------	------	--------------

事務事業の名称	BSE検査体制確立事業		
目的	(1) 対象	畜産農家及び消費者	
	(2) 意図	48ヵ月齢以上の死亡牛についてBSEの検査を行い、安全安心な畜産物の供給を図る。	
事業概要	牛海綿状脳症（BSE）清浄国維持及び食の安全安心を確保するため、48ヵ月齢以上の死亡牛に対して、BSE対策特別措置法に基づくBSE検査を実施する。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	年間のBSE検査対象死亡牛の検査実施率	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	%
		取組目標値						
	式・定義	BSE検査実施頭数／BSE検査の対象死亡牛頭数	実績値	100.0	100.0			
			達成率	-	100.0	-	-	-
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義		実績値					
			達成率	-	-	-	-	-

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	10,746	14,040
うち一般財源 (千円)	8,473	10,779

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

平成28年度は477頭のBSE検査を実施した。死亡牛のBSE検査並びに死亡牛処理は滞ることなく実施されている。より効率的な死亡牛処理体制の構築を進める必要がある。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

採材作業工程、採材施設管理手法および死亡牛の保管・搬出工程を見直すことにより、少人数で本検査体制を滞ることなく効率的に運用する事ができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」
事業開始から15年目を迎え、BSE検査に係る検査機器及び採材施設機材の経年劣化が生じており、細胞破砕装置の故障、冷凍保管施設あるいは床上操作式クレーンの作動不良などが頻発している。機材の定期点検や部品交換を実施しているが、製造後年数が経ち、交換用部品の供給が乏しい状況に陥っている。

②困っている状況が発生している「原因」
BSE検査に係る検査機器及び採材施設機材の経年劣化。

③原因を解消するための「課題」
BSE検査に係る検査機器及び採材施設機材の修繕費用および修繕不能機材については更新予算確保が必要。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

BSE清浄国という日本の国際的な評価を維持するためには、県における検査体制の安定的維持が必要であるため、採材施設および検査施設の機材の故障により滞ることがないように計画的な修繕・更新を実施する。